

総務文教委員会 県外行政視察レポート

委員長 小林 林 一
副委員長 小林 一 大

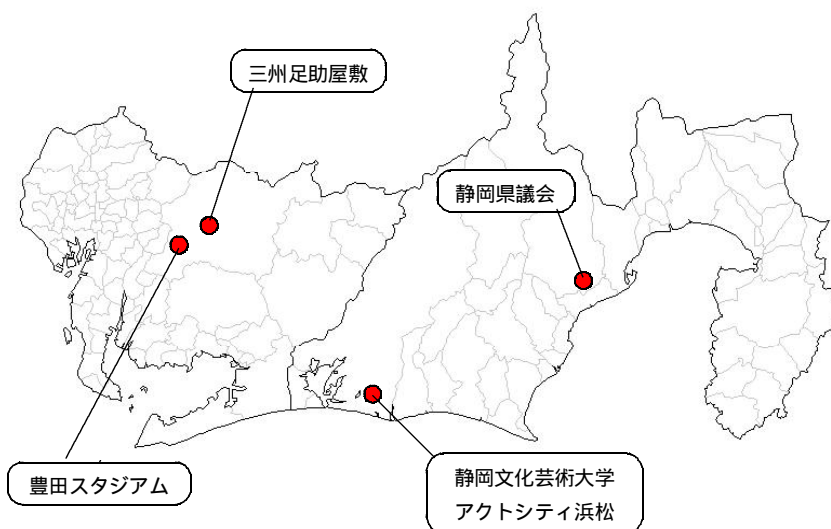
このたび、総務文教委員会は愛知県、静岡県を訪問し、文化と伝統を生かしたまちづくり（豊田市議会） 「みる」スポーツの振興に向けた取組（豊田市議会） 大学概要、就職支援の取組状況、産学官をはじめとする地域貢献の活動状況と課題（静岡文化芸術大学） 「音楽のまちづくり」の取組（浜松市議会） 事業仕分け、業務棚卸表による行政評価（静岡県議会）について行政視察を行ってきたところであり、その概要をレポートする。

1 日程

日 程	視 察 先
平成22年 2月 3日（水）	・豊田市議会：三州足助屋敷
平成22年 2月 4日（木）	・豊田市議会：豊田スタジアム
	・静岡文化芸術大学
	・浜松市議会：アクトシティ浜松
平成22年 2月 5日（金）	・静岡県議会

2 参加委員

小林 林 一
小林 一 大
市村 孝 一
岩村 良 一
斎藤 隆 景
尾身 孝 昭
梅谷 守 次
宮崎 増 仁
若月 良 子
竹島 邦 男
志田 邦 男



豊 田 市 議 会 ： 三 州 足 助 屋 敷

1 足助地区概要

- ・江戸から明治には、三州街道(塩の道)の足助宿として造り酒屋、塩問屋、材木屋、宿屋などが並ぶ賑やかな町が形成された。
- ・奥三河の中核拠点として栄えたが、1911年に中央線が開通し信州と三河を結ぶ流通ルートから外れると、宿場町の性格は失われた。
- ・人口1万人弱、高齢化率は約30%と、高齢化が進んでいる地域。
- ・近隣に香嵐渓があり紅葉の美しい季節には多くの観光客が訪れる。
- ・豊田市中心部に近接しており、「都市近郊通勤山村」となっている。
- ・平成17年4月1日に近隣町村（藤岡町・小原村・旭町・稲武町・下山村）と共に豊田市へ編入された。

2 町づくりに向けたこれまでの取組

昭和45年	過疎地域に指定。
昭和50年	「足助の町並みを守る会」が発足。町並み保存活動が本格化。
昭和53年	第1回「全国町並みゼミ」を開催。
昭和55年	香嵐渓内に「三州足助屋敷」が開館。
昭和61年	香嵐渓内に自生する「カタクリ」の保護・育成が始まる。
昭和63年	香嵐渓ライトアップが始まる。
平成5年	「AT21倶楽部」、「あすけまちづくりの会」が発足し、まちづくり活動が本格化。
平成11年	町並みを活かすイベントとして、「中馬のおひなさん」開始。 「観光ボランティアガイド」が発足し、活動を始める。
平成14年	町並みを活かすイベントとして、「たんころりん」が始まる。

三州足助屋敷

・鍛冶屋、炭焼き、紙漉き等の地域の中で手仕事が行われている業種を選択し、古い民家の移築や当時をほうふつさせる施設の整備等によって「生きた博物館」として山の生活を伝えている。

・施設内では、技術を持った高齢者達が誇りをもって働き、その技術を次代へ伝える拠点施設と位置づける等、地域の誇りと高齢者の生きがいを施設整備のテーマとしている。

3 足助地区における課題と基本方針

(1) 歴史的町並みの保存・活用

地域資源（歴史的資産・自然・景観）の保存活用

・電線類地中化 ・町屋再生整備 ・町並み修景助成 ・景観計画策定調査

(2) 定住化 生活環境の改善（交通、景観、下水道、防災など）

暮らし環境整備

・歩道整備 ・舗装美装化 ・市営住宅建設 ・農山村等定住奨励金等による定住促進策

(3) 活性化（商業・観光振興）

活力ある共働まちづくり

・観光交流センター整備 ・まちづくり活動支援 ・まちかど魅力アップ事業

4 主な質疑項目

平成17年の旧豊田市との合併後の足助地区における合併効果と地域住民の受け止めについて
まちなみ保存に向けた電線類地中化事業計画の内容について

豊 田 市 議 会 ： 豊 田 ス タ ジ ア ム

1 豊田市生涯スポーツプラン「みるスポーツの振興」

・子ども達をはじめとする市民に「夢と感動」を提供するとともに、市民のスポーツの振興を誘発し、スポーツを通じた交流のまちづくりを推進。年間のスポーツ観戦率2人に1人 3人に2人

2 豊田スタジアム及び豊田市総合体育館（スカイホール豊田）を中心に各種競技会等を誘致

・国際ユースサッカー大会 ・国際体操競技大会 ・ソフトボール日本リーグ（女子）
・バスケットボール日本リーグ（女子） ・バスケットボールWリーグ（女子）
・バレーホールプレミアリーグ（男子・女子） ・ラグビートップリーグ

3 主な質疑項目

指定管理料をはじめとする収入内訳について

イベント開催時における渋滞対策について

不況による広告料収入への影響について

静岡文化芸術大学

1 大学概要

・静岡県立大学短期大学部浜松校を母体に、ものづくり企業が集積した静岡県西部地区にふさわしい大学を目指して平成12年に開学。

・設置当初は公設民営形式の私立大学として学校法人により運営されていたが、静岡県立大学との統合を要望する意見が度々出され、静岡県立大学と同一の公立大学法人の傘下に入ることも検討された。平成21年4月からは公立大学法人に移管される。

・学部学科等
文化政策学部 ・国際文化学科 ・文化政策学科 ・芸術文化学科
デザイン学部 ・生産造形学科 ・メディア造形学科 ・空間造形学科
大学院 ・文化政策研究科 ・デザイン研究科

2 地域貢献の取組例

(1) 地域文化事業の実施

学生のプロジェクトチームが企画運営する薪能（3夜）の開催。参加者数 839名。

(2) 図書館の開放

20歳以上の県内在住者を対象。平日（9時～20時）、土曜（10時～16時）。登録者688人。

(3) 自由創造工房の開放

テキスタイル、木工機械等を使用した創作活動のために、夏休みと春休みに工房を公開。

3 主な質疑項目

開学に当たっての学部構成の検討経緯について

米粉麺の押し出し製法に対する考え方について

公設民営から公立に移行する理由と公立に移行した場合に考えられるメリットについて

シンボルマークの意味するものについて

浜松市議会：アクトシティ浜松

1 「音楽のまち・浜松」の推進

浜松市はオートバイなどの輸送機器産業、繊維産業、ピアノをはじめとする楽器産業の三大産業を中心とし、「モノづくりのまち」として発展してきた。

ものづくり中心の「楽器のまち」から文化面での発展を目指して「音楽のまちづくり」を進めている。

2 音楽文化の発信

浜松国際ピアノコンクール

- ・浜松市制80周年を記念し、平成3年から国際的文化事業としてスタート。以降3年毎に開催。
- ・国際音楽コンクール世界連盟に加盟し、国際コンクールとして世界に承認されている。

浜松吹奏楽大会

- ・全日本高等学校選抜吹奏楽大会と全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテストを毎年開催。
- ・高校選抜大会出場校が練習会場とした市内中学校では、交流会を機に生徒の音楽への意識高揚が図られている。

浜松世界青少年合唱祭

- ・浜松市制80周年を記念し、平成3年から5年毎に開催。
- ・世界各国から青少年合唱団を招聘し、市民との交流、国際友好親善を図っている。

3 市民による音楽文化の創出

浜松市民オペラ　　こどもミュージカル

ジュニアオーケストラ浜松（管弦楽団）、ジュニアクワイア浜松（合唱団）の育成。

4 音楽文化を担う人材の育成

浜松市アクトシティ音楽院で、あらゆる音楽界で活躍できる人材の育成（アカデミーコース）や、市民が気軽に音楽に親しみ、学ぶ機会（コミュニティコース）を提供。

5 主な質疑項目

文化振興課の総事業費と国際ピアノコンクールに係る費用について

音楽方面の進路を選択する子どもたちの状況を示す統計資料の有無について

国際ピアノコンクールの音楽界における位置づけについて

静岡県議会

1 事業仕分け

- (1) 平成21年10月31日から11月2日にかけて、公開により実施。
- (2) 外部の専門家と県民から公募で選ばれた委員の評価により、事業ごとに「1 不要」「2 民間が実施すべき」「3 国が実施すべき」「4 市町村が実施すべき」「5 民間能力を活用」「6 県で行うが改善が必要」「7 現行どおり継続して実施」の7区分に仕分け。
- (3) 対象101事業の内、不要12件、県で行うが改善が必要53件など 103件の仕分け結果を得た。
- (4) 仕分け結果に対する平成22年度当初予算の部局調整案の状況
 - ・平成21年度で廃止又は平成22年度以降段階的に廃止 14件
 - ・事業内容を見直して継続実施 69件
 - ・国等に対して事業実施などを提案 2件
- (5) 事業仕分けの県民からの評価
 - ・県の事業の理解度を高めるために有効な手法であり、県や県職員の意識改革にも通じる。
 - ・議論する時間が不足している。
 - ・仕分け人の意見がすべての判断ではない。

2 業務棚卸表を活用した行政評価

- ・「業務棚卸表」は各課が目的を達成するために実施する業務の作戦体系を示し、具体的に何をどこまでやるのかを記述した作戦書。仕事の内容をすべて書き出し、目的ごとに整理したもので、静岡県が行っている仕事を「見える化」した。
- ・「業務棚卸表」に基づき仕事の進捗度合や妥当性、有効性などを評価し、予算や組織体制などに反映させている。
- ・評価を加えた「業務棚卸表」は、県議会（決算特別委員会）に提出される。

3 主な質疑項目

庁内の内部管理業務に係る見直しの取組状況について

ゼロ予算事業など数値化が困難な事業に対する見直し手法の有無について

公募事業仕分け人の募集及び選定方法について

業務棚卸表の議会提出時における内容と公開方法について

これまで事業評価を行ってきた事業が仕分けにより不要等とされたことに対する所見について
事業仕分け結果に対する知事の所見について